

EXEO REPORT

2022年度(2023年3月期)

Engineering for Fusion

社会を繋ぐエンジニアリングを
すべての未来へ

EXEO
エクシオグループ株式会社

証券コード:1951

社会課題の解決を通じて SDGsの実現へ積極的に貢献してまいります

代表取締役社長 船橋 哲也



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染症の位置づけが「5類感染症」へと移行され、ようやくコロナ禍から経済正常化への動きが本格化してきましたが、エネルギー資源の高騰や急激な円安によるコスト悪化等、未だ難しい事業環境が続いております。当社グループは引き続き臨機応変かつ柔軟な事業運営を行うことにより、グループの持続的な成長につなげていけるよう、これからも努力してまいります。

さて、当社グループの2022年度(2023年3月期)連結業績の概要についてご報告申し上げます。

2022年度(2023年3月期)連結業績の概要

当連結会計年度(2022年4月1日~2023年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に起因した社会経済活動の制限が緩和され、景気は緩やかな持ち直しの傾向が見られました。一方で、ウクライナ紛争が長期化するとともに世界的な金融引締めが続く、電気料金をはじめとするエネルギー価格の高騰と物価の上昇によるインフレ懸念、半導体をはじめとするサプライチェーンの動向など、景気を下押しするリスクにも引き続き注意を要し、先行きは未だ不透明な状況が続いています。

当社の事業領域である情報通信分野については、社会全体のデジタル化進展に伴い、あらゆる社会経済活動を支える最も基幹的なインフラとしての安定的なサービス提供が求められており、トラヒックの増加に対応したネットワークの強化は重要な課題となっています。また、地域の社会課題を解決するためのデジタル化推進など今後もデータ需要が高まるのは確実であり、大量のデータを蓄積・処理するデータセンターの重要性も増大しております。建設分野については、資材価格の高騰が続いているものの、民間

設備投資は持ち直しつつあり、道路等の設備の更新・維持に向けた公共投資も底堅く推移していく見通しです。さらに、エネルギー関連事業においては、脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー拡大に向け、蓄電池や送配電インフラ等の関連投資が今後加速すると想定されます。

このような事業環境のなか、当社グループは、引き続き新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、社内のテレワーク環境を最大限に活用した慎重かつ柔軟な事業運営を行ってまいりました。通信キャリア事業におきましては、NCC各社を含むモバイル分野については、各通信キャリアの設備投資抑制の動きが見られるとともに物品納品遅延も一部で発生しておりますが、柔軟な施工体制による工事完成に努めてまいりました。一方、アクセス分野については、高度無線環境整備推進事業は終了したものの堅調に推移した状況です。都市インフラ事業におきましては、大規模データセンター構築や新築ビル等の電気工事の受注などが引き続き好調に推移しており、太陽光発電設備工事やごみ処理プラント等の維持管理案件も継続して受注しております。また、今後の事業拡大に向けて取り組みを進めている電力線技術者の育成も着実に進展しております。システムソリューション事業におきましては、当社グループが強みを持つお客様に対して引き続き積極的な営業活動を展開するとともに、上流から下流までの一気通貫でのサービス提供を行うため、子会社を含めた事業再編を実施し、効率的かつ積極的な事業運営を推進してまいりました。また、グローバル分野については、デジタル貿易プラットフォームをはじめとするソリューション事業が順調に成長するとともに、中古IT機器を利活用するリファービッシュビジネスを全世界で展開し、インドネシアの屋内通信インフラシェアリング事業においては更なる基地局の取得を行い、同国においてサイトシェア数が最大規模のリーディングカンパニーとなりました。

2023年6月

プロジェクト

環境事業（都市インフラ事業）の取り組み一部紹介

木質バイオマス発電

未利用の木材チップを
燃料とする
バイオマス発電施設を建設



事業地
栃木県足利市
想定年間発電量

約 **5,680** 万kWh
(一般家庭 13,300 世帯の
年間使用量に相当)

事業地
福島県石川郡古殿町
想定年間発電量

約 **1,523** 万kWh
(一般家庭 3,500 世帯の
年間使用量に相当)



営農型太陽光発電

太陽光発電と農業で土地を共有する
「ソーラーシェア」の実験施設を開設

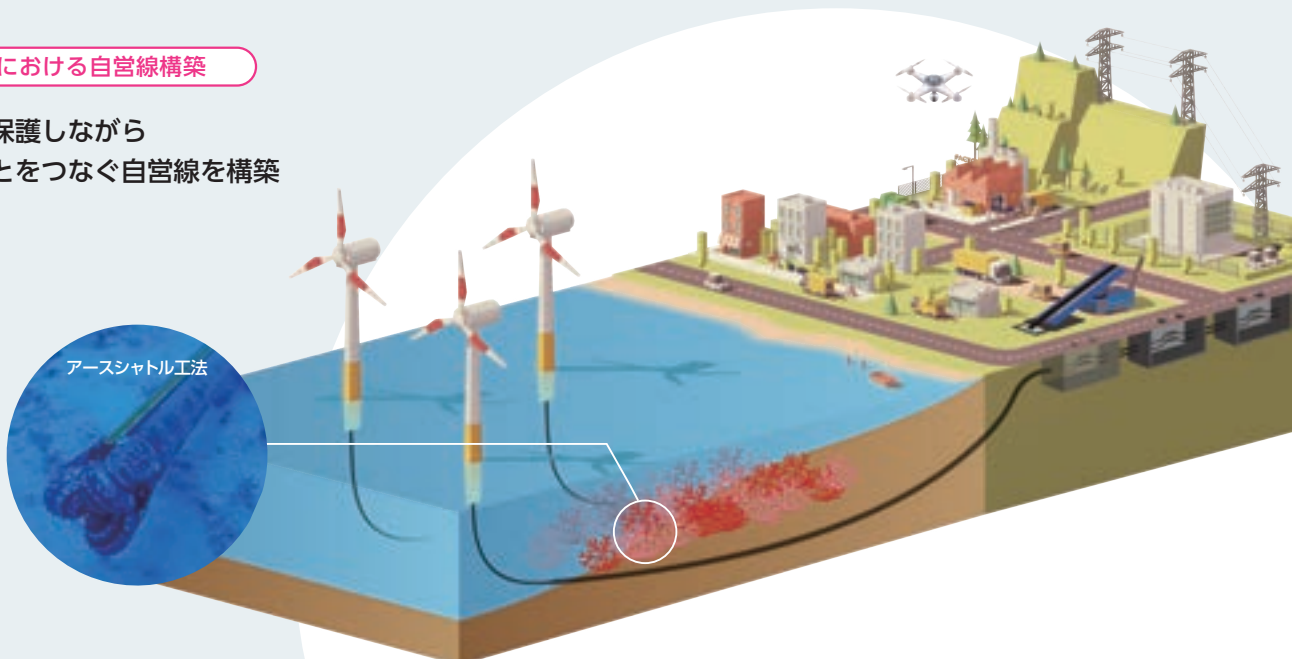
事業スキームと目指す成果
共同パートナー



実証実験 / 最先端技術の理解促進 / 新技術開発・改善
地域脱炭素 / 地域連携 / 農業支援 など

洋上風力発電における自営線構築

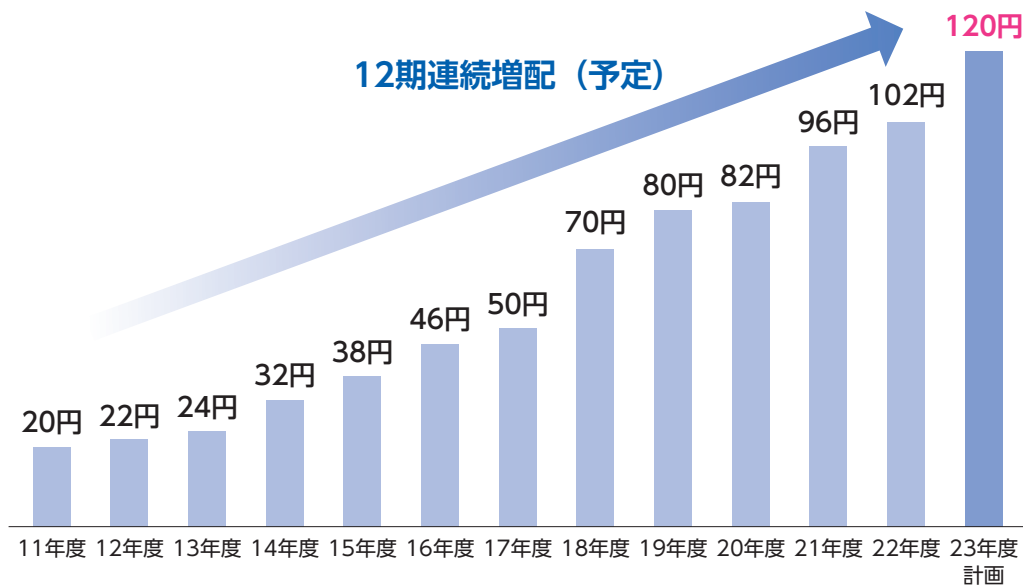
自然環境を保護しながら
風車と陸上とをつなぐ自営線を構築



2023年度の配当金は18円増配の年120円を予定

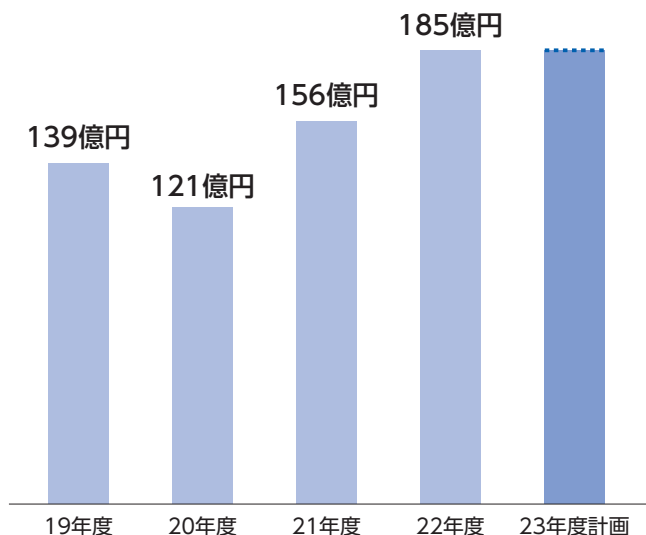
当社は2023年5月12日の取締役会において、配当方針であるDOE（自己資本配当率）3.5%を4.0%へ引き上げることを決定しました。

年間配当の推移



当社はDOEを指標として、安定した配当を継続することを基本方針としており、これまで株主還元を強化し、増配を続けて参りましたが、今般、DOEを4.0%へと引き上げることで、昨年度と比べて18円の大幅増配を計画するとともに、12期連続の増配となることを予定しております。

総還元額（配当金+自己株式の取得）



配当と合わせて、自己株式の取得も継続的に実施してまいりましたが、今年度もすでに30億円の取得枠を確保しております。

今後も、株主様の期待に応えられるよう、株主還元を意識した事業運営を心掛けてまいります。

／ 営農型の太陽光発電施設「ソーラーシェア」事業拡大に向け関連する12社が連携

当社は東急不動産様など関連する12社とともに、埼玉県東松山市にてソーラーシェア（営農型の太陽光発電）を中心とした、農業と再生可能エネルギーを両立する実証施設『リエネソーラーファーム東松山』にて、このほど共同で実証実験システムの構築を行いました。ソーラーシェアは太陽光発電施設を設置した地面を農地として活用するもので、土地を有効活用できることで注目を集めています。この事業を展開・普及するため、最適な発電量を確保するための検証など、様々な実証実験を行う「リエネソーラーファーム東松山太陽光発電所」（以下：「本発電所」）を構築しました。本発電所での実証実験によるノウハウを獲得することで今後のソーラーシェア事業の拡大を実現します。



／ Gachacoステーションの普及・拡大における連携開始



電動バイク等向けのバッテリー交換機 電動バイクに搭載されたバッテリーを誰でも簡単にガチャッと交換街中のあらゆる所にバッテリー交換機を設置することで充電の残り時間を心配せずバッテリーを交換。

当社は、株式会社Gachaco様が手掛ける電動バイク等向けのバッテリー交換機（Gachacoステーション）の普及・拡大において、当社の強みである「イノベーションによる多様なエンジニアリングを繋ぎ、融合する力」を活かし、連携を開始しました。当社は、Gachacoステーションの設置および保守業務を通じ、当社が掲げる「Engineering for Fusion ～社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ～」の実現に向け、エンジニアリングによる課題の解決に挑戦し、脱炭素社会に向け更なる貢献をしてまいります。

／ インドネシアの屋内通信インフラシェアリング事業におけるサイト取得について

インドネシアのグループ会社で同国の屋内通信インフラシェアリング事業を展開するPT dhostは、Indosat OoredooHutchisonが保有する屋内通信インフラシェアリングサイト（最大 633サイト）を取得しました。PT dhostはこれにより、インドネシアにおける屋内通信インフラシェアリングのリーディングカンパニーとなります。今後も引き続き、インドネシアのモバイルネットワーク事業者と緊密に協力することで、インドネシアの通信環境の整備と経済成長に貢献してまいります。

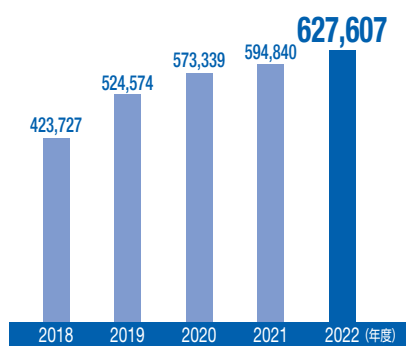


調印式の様子

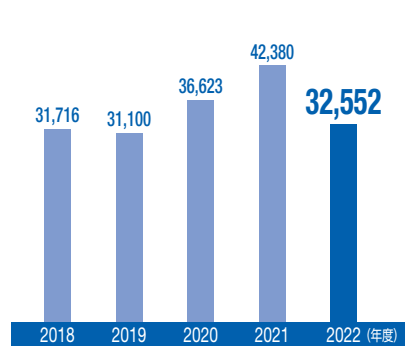
決算ハイライト

受注高	6,256 億円	前期比 105.1%
売上高	6,276 億円	前期比 105.5%
営業利益	325 億円	前期比 76.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	222 億円	前期比 80.1%

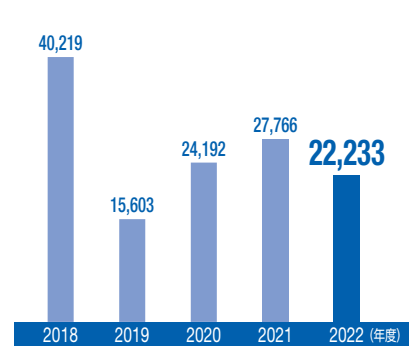
売上高 (百万円)



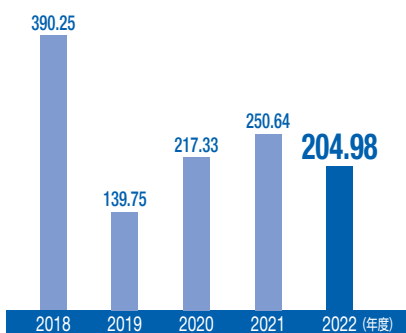
営業利益 (百万円)



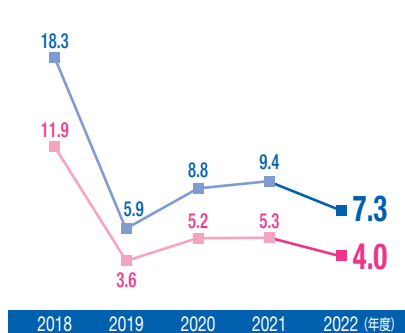
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



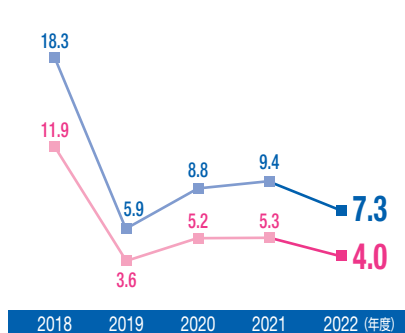
EPS (1株当たり当期純利益) (円)



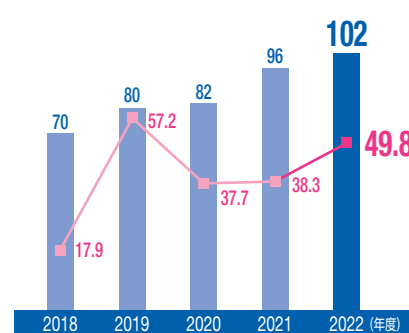
ROE (%)



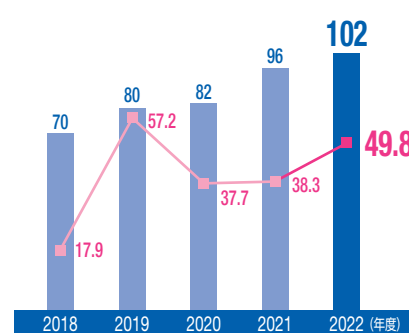
ROA (%)



配当金 (円)



配当性向 (%)



セグメント別状況

通信キャリア	受注高	2,560 億円	前期比	88.1%
	売上高	2,711 億円	前期比	93.7%
都市インフラ	受注高	1,778 億円	前期比	122.0%
	売上高	1,653 億円	前期比	109.6%
システムソリューション	受注高	1,917 億円	前期比	120.6%
	売上高	1,910 億円	前期比	123.5%

会社概要

会社概要 (2023年3月31日現在)

商号 エクシオグループ株式会社
EXEO Group, Inc.
設立 1954年(昭和29年)5月17日
資本金 68億8千8百万円
従業員数 連結 16,772名/単独 3,851名
本社 東京都渋谷区渋谷三丁目29番20号
西日本本社 大阪府大阪市中央区内本町二丁目2番10号
事業所 支店:12 営業所:23

役員 (2023年6月23日現在)

代表取締役社長	船橋 哲也	取締役	小原 靖史
取締役専務執行役員	三野 耕一	取締役	岩崎 尚子
取締役専務執行役員	渡部則由紀	取締役	望月 達史
取締役常務執行役員	光山 由一	取締役	吉田 佳司
取締役常務執行役員	坂口隆富美	取締役	荒牧 知子
取締役常務執行役員	今泉 文利	常勤監査役	大坪 康郎
取締役執行役員	林 茂樹	常勤監査役	小島 慎二
		監査役	山田眞之助
		監査役	高橋貴美子
		監査役	大澤 栄子

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 300,000,000株
発行済株式総数 109,812,419株
株主数 35,114名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,297	16.16
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	10,171	9.50
エクシオグループ従業員持株会	4,804	4.49
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS	2,323	2.17
住友生命保険相互会社	2,296	2.15
住友不動産株式会社	2,081	1.94
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,988	1.86
株式会社日本カストディ銀行・ 三井住友信託退給口	1,834	1.71
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・ 住友電気工業株式会社退職給付信託口)	1,500	1.40
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 381572	1,311	1.23

(注) 当社は、自己株式を2,759千株保有しておりますが、上記の表には含めておりません。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日
定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して
定めた日

株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063
〈郵便物送付先〉 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〈電話照会先〉 ☎ 0120-782-031

☎ 0120-533-600
〈書面交付請求〉 受付時間 9:00~17:00(土・日・休日を除く)
次の株主総会より、ホームページに掲載している招
集ご通知の送付をご希望の株主様は上記までご連絡
ください。

〈インターネット〉
〈ホームページURL〉
ぜひQ&Aもご利用ください。
[https://www.smtb.jp/personal/
procedure/agency](https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency)

株主優待
毎年3月末日現在の当社株主名簿に記載また
は記録された1,000株以上保有の株主様を
対象にクオカードを贈呈いたします。

- 保有継続期間3年未満:1,000円相当
- 保有継続期間3年以上:2,000円相当

※保有継続期間の3年以上とは、3月末日と9月末日
の当社株主名簿に連続して7回以上記載された時
点からといたします。

※発送時期は、毎年1回、当社定時株主総会終了後
の6月下旬とさせていただきます。

単元(100株)未満株式の買取・買増請求のご案内について

単元未満株式につきましては、市場で売買することができませんが、
次のいずれかを利用して整理していただくことができます。

【単元未満株式の買取請求】

当社に対して、ご所有の単元未満株式の市場価格による買取を請求
することができます。

【単元未満株式の買増請求】

当社に対して、単元株式に不足する株式数の市場価格による買増し
を請求し、ご所有の単元未満株式と合わせて100株にすることができます。

単元未満株式買取・買増請求の手続きにつきましては、下記の電話照
会先にお問い合わせください。

☎ 0120-782-031



エクシオグループ株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷三丁目29番20号
TEL.03-5778-1111 (代表) <https://www.exeo.co.jp>

